

「東日本大震災と私」

作成者 Y.T

[地震当日 2011.3.11 の私の体験](#)

[地震後 3 ヶ月間の私の動き](#)

[今私にできること](#)

[英訳文](#)



震災復興
に協力し
よう！！

画像をクリックしてみよう (´^ω^`)

1.地震当日 2011.3.11 の私の体験

私はそのとき、6時間目の授業の準備をし終え、先生が来るまで友達と話していた。本当にたわいのない会話をしていました。地震がくるなんて知りもしなかった。あの 14:46 という残酷な時間がやってきた。教室の窓は今にも割れそうな勢いで揺れていた。友達も泣いていた。わたしは必死に机の下に隠れていると、蛍光灯は消え、水道も止まった。いつまで経っても大きな揺れは収まらず、同時に大きな不安が自分を襲った。しかしこの恐怖よりも大変なことが別に起こっていたなんて、このときは知りもしなかった。

わたしは無事家に帰宅はできたが、当然、暖房がついているわけもなく、家の中はただ冷え切っていた。テレビも付かなければ新聞もこない、また保存食が足りないという不便な生活が、約3日も続いた。私の家は発電機がなかったため大変だった。震災から2日後の夜にやっと電気がつき最初にテレビを見た。今までで体験したことがないような津波などの悲惨な状況を目の当たりにした。秋田県は震度5強だった。次の日もその次の日も、

テレビは震災のニュースばかりだった。忘れられない悲しい思い出だ。

2.地震後3ヶ月間の私の動き

1ヶ月間はガソリンスタンドへ行ってもガソリンがなかった。また、スーパーやコンビニへ行っても物資がなく、今の日本の現状を目の当たりにした。しかしこの現状以上のものを被災地の方々は体験していると思うと、贅沢はできなかった。それからわたしはパソコンやテレビを必要最低限使わないことを心掛けた。

3.今私にできること

- ・ 募金をする。
- ・ エアコンなどの節電。
- ・ 必要最低限の電力しか使わない。

4.英訳文

I finished preparing class of the sixth hour then. That sad time came at 14:46. It was intensity 5 plus. Class room shook widely. My friend scared and cried. The fluorescent lamps turned off when I was hiding myself under the desk, and water service stopped, too.

I could back to my home safely. But it was cold in my home. We had no heaters at all which work without the electricity.

The light finally lit up about 3 days later. And I watched the TV.

The miserable scenes such as tsunamis that had not been experienced before were seen on it. It is sad memories that cannot be forgotten forever.

There were no goods even in the supermarkets and the convenience stores.

I thought that Tokyo Electric Power Company reacted insufficiently for to the accidents. These were born in my mind;

I would not use a personal computer and TV as much as possible.

I will cooperate to the fund-raising-campaign.

I will cooperate to power saving.

When I use air conditioners,

I will save energy consumptions.

I will not use the electric power as much as possible.

2011.9.2